

御池台 (医)医真会 あかざわ小児科

新・こどもと健康

No.12

2018.1.6

あけましておめでとうございます。
本年もよろしく願いたします。

インフルエンザワクチンは在庫のある限り、
1月31日まで特に制限なしで、お受けいただけます。

予約サイト <http://2977771.com/i/>



予診票サイト <http://www.yoshinhyo.com/download/aka7771>



専用サイトは1月13日を越える予約候補が表示されませんので、
1月15日以降の予約は時間内にお電話ください。

＜同時接種について＞

インフルエンザワクチンの他に、1種類だけ同時接種をさせていただきます。

＜備 考＞ 二十歳未満の方は接種日に**母子手帳をお持ちください。**
小さいお子さんは接種間隔を確認します。完了していない
ワクチンのチェックにもなります。

堺市在住の65歳以上の方のインフルエンザワクチンの自己負担1,500円の制度が3月31日まで延長される見通しです。

インフルエンザワクチンの製造が大幅に遅れたことを受けて、まだ受けておられない方のために、堺市は、堺市在住の方のインフルエンザワクチンの自己負担1,500円の制度を1月31日(水)までではなく、3月31日(土)まで延長しようとしています。

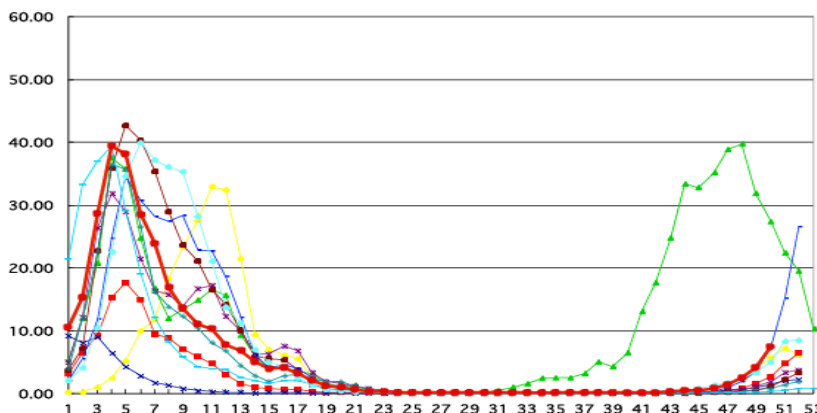
ただし、定期接種ではなく、任意接種の扱いになります(何か重い副反応があった場合の補償が定期接種と任意接種では違いがあります)。それと、1月31日までに65歳になっていないと対象になりませんので、ご注意ください。

インフルエンザの流行状況について

国立感染症研究所感染症情報センターのホームページから見ると、2017年12月4日から10日にインフルエンザで受診した患者さんの推計は約20万人、12月11日から17日で約35万人、12月18日から24日で約66万人で、9月4日以降の累積では約158万人となっています。

12月18日から24日の定点当たりの報告数(1週間に一つの診療所などでインフルエンザと診断された患者さんの人数)は、全国平均が12.87で、都道府県別の最高は宮崎県で26.03、次いで長崎県が25.57、岡山県が25.19、山口県が22.22、大分県が20.95の順でした。同じ期間の大阪府は9.5、堺市は6.8でした。

11月20日から12月24日の国内のインフルエンザウイルスの検出状況ではAH1pdm09(2009年にブタ・新型インフルエンザと大騒ぎしたA型の株)が、約60%と最も多く、次いで山形系統のB型が同25%程度、残りの15%程度がAH3(いわゆるA香港)となっています(割合はグラフからの見た目です)。



←過去10年間のインフルエンザの定点当たりの報告数の週別比較です。一番濃い赤が2017年ですが、結構早いペースで増えています。

- (感染症発生動向調査週報(IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>)
- (インフルエンザ流行レベルマップ <https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-map.html>)
- (インフルエンザウイルス分離・検出速報 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>)

年長さん、MR(麻疹風疹)ワクチンはお済みですか？

MRワクチンの2期は5歳～7歳未満の小学校就学前の1年間に1回となっております。まだの方は3月31日(土)までに完了してください。
※小学校入学式までに、ではありません。

1月・担当医の変更

6日(土)午前診 片桐→赤澤
20日(土)午前診 片桐→赤澤
23日(火)午前診 赤澤→片桐